

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2003-514985(P2003-514985A)

【公表日】平成15年4月22日(2003.4.22)

【出願番号】特願2001-529478(P2001-529478)

【国際特許分類】

C 2 3 C	10/28	(2006.01)
C 2 2 C	14/00	(2006.01)
C 2 3 C	4/18	(2006.01)
C 2 3 C	14/14	(2006.01)
C 2 3 C	30/00	(2006.01)

【F I】

C 2 3 C	10/28	
C 2 2 C	14/00	Z
C 2 3 C	4/18	
C 2 3 C	14/14	D
C 2 3 C	30/00	C

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】 層が0.5~15原子%、好ましくは5~10原子%のクロム含有量を有する、請求項5に記載の構成部材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】 請求項1~4のいずれか一つに記載の構成部材の表面に層を造る方法において、以下の

- 最終組成が三成分のTi₅Al₃O₂-相に相当し、ただしチタンの一部がAgに交換される様に、Ti、AlおよびAgの混合物を構成部材の表面に適用するという段階を有する、上記方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】 以下の

- 40~60原子%、特に48~55原子%のAlおよび0.5~10原子%、特に1~3原子%のAgを有する銀含有のチタン/アルミニウム合金を製造し；

- 該合金を構成部材の表面に適用して層を形成する

各段階を含む、請求項7または8に記載の方法。